

健康だより

健診をうけましょう！ 糖尿病編

今では糖尿病は、めずらしい病気ではありませんが、実はさまざまな合併症を引き起こす怖い病気です。しかし、早くわかって治療を続けると、普通とほとんど変わらない生活ができます。



糖尿病はどんな検査でわかる？

1. 血液検査
2. 尿検査（尿糖）
3. 眼底検査

気になる自覚症状はありませんか？

初期にはほとんど自覚症状がないため、健康診断で糖尿病の疑いと判定されることが多く、見逃されやすいのが特徴です。

- ①尿量が多い ②のどが渇きやすい ③異常に食欲がある
④急にやせる ⑤体がだるく、疲れやすい



糖尿病だけにおきる合併症って？

糖尿病があるためにでてくる合併症は、

もうまくしょう
網膜症

（だんだん視力が低下し、重症化すれば失明することもあります）

じんしょう
腎症

（たんぱく尿がでて、むくみや腎不全となり、人工透析が必要となります）

しんけいしょうがい
神経障害

（手足のしびれ、痛みで歩行が困難になったりします）

これらの症状は糖尿病のない人にはほとんど起こりません。



まずは、基本健康診査を受けてみましょう

疲れすぎやストレスも糖尿病に影響します。

ご自分の日常生活を見直してみてくださいね。